川通信
みずおと
176号
発行　令和8年11月
編集　国土交通省　東北地方整備局
新庄河川事務所　鮭川出張所

総合防災訓練を実施しました！

～いざという時に備え、対応力を高める～

新庄河川事務所では、10月5日（月）に総合防災訓練を実施しました。
今回の訓練では、大規模な地震による災害の発生を想定し、各出張所との連絡体制や被害状況の確認、情報伝達など、一連の対応手順を確認しました。
災害時には、正確な情報をいち早く把握し、関係機関と連携して対応することが重要です。
今後も、こうした訓練を通じて職員一人ひとりの防災意識を高め、地域の皆さまの安全・安心を守るため、災害対応力の向上に努めてまいります。



もしもの災害に備えていますか？

地震や大雨などの自然災害は、いつ発生するかわかりません。
災害が起きたとき、落ち着いて行動できるよう、日頃からの備えが大切です。
ご家庭でも、避難場所や避難経路の確認、非常持出品の準備、家族との連絡方法などを確認しておきましょう。

「もしも」のために、今できることから始めてみませんか？

第1回 鮭川流域安全パトロールを実施しました！

～安全で安心な工事現場を目指して～

10月8日（木）、鮭川流域において、今年度第1回目となる安全パトロールを実施しました。
今回のパトロールでは、工事現場を巡回し、作業環境や安全設備の設置状況、危険箇所の有無などを確認しました。
工事現場には、重機の使用や高所での作業など、さまざまな危険が潜んでいます。事故を未然に防ぐためには、日頃から安全対策を徹底し、危険を見逃さないことが重要です。
今後も、工事関係者と連携しながら、安全意識の向上と労働災害の防止に努めてまいります。



工事現場の作業状況や安全対策を確認



工事現場内の作業環境を確認



工事現場の仮設トイレのついて、設置状況や衛生管理を確認

ここに注目！安全パトロールのチェックポイント

工事現場では、事故を未然に防ぐため、さまざまな安全対策が求められます。今回の安全パトロールでは、次のような点に着目して現場の安全管理状況を確認しました。
*作業環境の安全性：作業通路や足場などが安全に確保されているか
*重機・車両の安全対策：接触事故や巻き込まれ事故を防ぐ対策が取られているか
*転倒・墜落防止対策：危険箇所への立入防止措置などが適切か
*整理整頓の状況：資材や工具が適切に管理されているか

堤防モニタリングを実施しました！

10月2日(金)・9日(金)・19日(月)に、鮭川出張所管内において堤防モニタリングを実施しました。

堤防は、洪水時に河川の水が住宅や農地などへ流れ出すことを防ぎ、地域の暮らしを守る重要な河川施設です。

モニタリングでは、堤防や河川敷を実際に歩きながら、亀裂や陥没、樹木の繁茂状況などを確認し、異常がないか点検を行いました。

その結果、堤防の亀裂や陥没などの異常は確認されませんでした。また、一部で樹木や草の繁茂が見られましたが、現時点で河川管理に支障を及ぼすほどの状況ではないことを確認しました。

堤防は、長年の雨風や洪水などの影響によって、少しずつ状態が変化することがあります。そのため、日頃から小さな変化を見逃さず、異常を早期に発見することが重要です。

今後も継続的な点検と適切な維持管理を通じて、洪水による被害の防止・軽減に努め、地域の皆さまの安全・安心を守ってまいります。

なお、10月21日(水)に予定していたモニタリングは、天候不良のため延期となり、11月5日(木)に実施することとなりました。



堤防の目視点検：堤防を歩きながら、亀裂や陥没などの異常がないか確認します。



貫入棒による調査：堤防の土の状態を調べ、弱くなっている箇所がないか確認します。



樹木の繁茂状況の確認：河川管理に支障となる樹木がないか確認します。



堤防の変状確認：堤防の形状や周辺の状況を確認し、補修の必要性を検討します。

⚠ 油流出事故にご注意ください ⚠

寒くなると暖房を使う機会が増えるため、タンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川に流れ出す事故が多く発生します。その原因の多くが、人為的ミスによるものです。事故を起こした場合、油の撤去には費用がかかり、**その費用は、事故を起こした原因者が負担すること**になります。給油中はホームタンクから離れない、ホームタンクや配管の定期点検を行うなど、流出事故を防ぎましょう。

油が流出すると…

流出した油は、雨水とともに水路を通じて河川へ流れ込むほか、地面に染み込んだ油が時間の経過とともに水路へ流れ出すこともあります。
また、流出した油を水で洗い流すと、油が広範囲に拡散し、被害の拡大につながるおそれがあります。**油を水で洗い流すことは絶対にしないでください。**



⚠ 油の流出事故を起こしてしまったり、流出を発見した場合は…

万が一、油の流出事故を起こしてしまった場合や、発見した場合は、すぐにお近くの消防署・警察署・市町村役場・県や国土交通省の機関にご連絡してください！



1 その場を離れない



ホームタンクなどから灯油を小分けするときは**絶対にその場を離れない**ようにしましょう。

2 配管の場所には目印を



除雪などによる配管の破損を防ぐために、配管の場所がわかるように目印を立てておきましょう。

3 落雪には注意して



屋根からの落雪により、配管やホームタンクが破損することがあります。
冬期間は特に注意しましょう。

4 定期点検を怠らない



ホームタンクや配管に亀裂や劣化がないか、**定期的に点検を行いましょう。**

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

広報紙担当：東村
広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。
HPはこちらから